

Society5.0時代に対応した教員養成を先導する教員養成フラッグシップ大学の在り方について（最終報告）のポイント

【経緯】

教育再生実行会議第十一提言「技術の進展に応じた教育の革新、新時代に対応した高等学校改革について」（令和元年5月17日）

- Society5.0時代に対応した、教員養成を先導するフラッグシップ大学（例えば教員養成の指定大学制度等）を創設する。
- STEAM教育や、児童生徒がICTを道具として活用することを前提とした問題発見・解決的な学習活動等についての高い指導力を有する教員の育成を促進する。

中央教育審議会初等中等教育分科会教員養成部会の下に設置されたワーキンググループにおいて役割・選定の条件等について検討

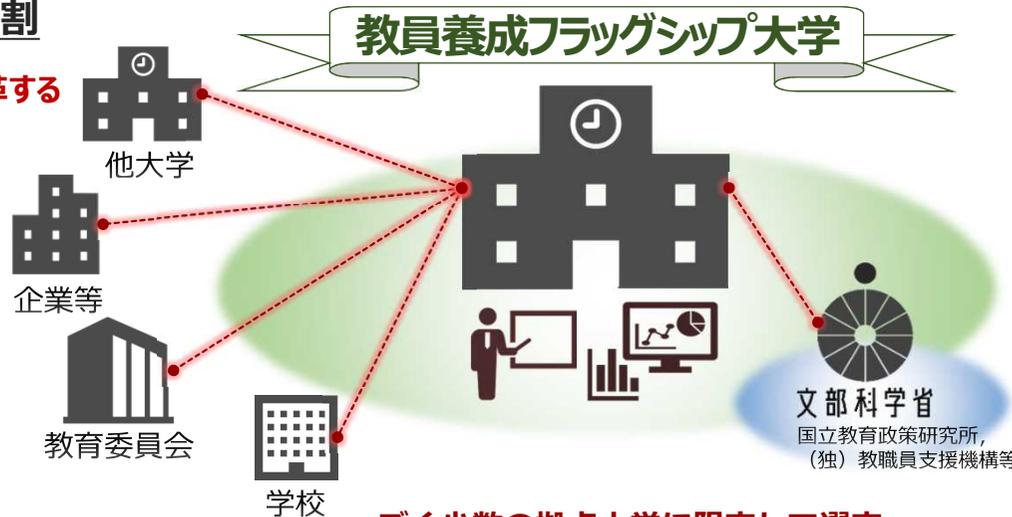
◆ 教員養成フラッグシップ大学の役割

- ① 我が国の教員養成を新たな次元へと変革する牽引役
- ② 我が国の教員養成ネットワークの中核
- ③ 学校教育の課題解決への寄与、政策提言の機能

◆ 制度面・予算面での支援

- 教職課程の認定に関する規制の緩和等
- 予算面での継続的な支援

Society5.0時代にふさわしい
教員養成カリキュラムの研究開発
(教科横断的なSTEAM教育・プログラミング教育、AIやビッグデータ等に対応した特別の授業内容、指導方法等)



◆ 公募・選定、評価

- 必要な要件を明示した上で希望する大学を募り、厳正に評価・選定
- 選定の期間は5～6年
- 継続的に取組の進捗状況を点検・評価、必要に応じ計画の見直し

◆ 要件

- 教員養成や教育研究に関する優れた実績
- 創造的・革新的な研究開発計画・構想
- 多様な関係機関との連携・協働 等々

他大学や教育現場における
成果等の普遍化、発信、共有

最終報告を受けた
文部科学省の
今後の対応（予定）

令和元年度
令和2年度

- ・ 制度面の対応及び選定条件の詳細の検討・策定
- ・ 大学の公募
- ・ 選定委員会による評価・選定
- ・ 文部科学大臣による指定
- ・ 教員養成フラッグシップ大学の取組開始

令和3年度